

Cpad の手引き

※注意 教員及び TA は、このソフトウェアに対するサポートを一切いたしません。

なにか問題が生じてても、自力で対応できる人のみ利用してください。

紹介

C 言語のプログラミングをするにあたって、非常に便利なエディタ(開発環境)「CPad」を紹介します。いままでメモ帳や秀丸を使ってプログラミングをしていた人は、.c ファイルや.cpp ファイルをコマンドプロンプトでコンパイルし、生成された実行ファイル(.exe)をコマンドプロンプト上で実行してプログラムの動作を確認していたと思います。しかし、「CPad」を使うことにより、プログラムを書いた後、1クリックで実行結果を知ることができます。

ダウンロードとインストール(※学内での設定 学外で使用する場合はホームページの記載に従って設定を行ってください)

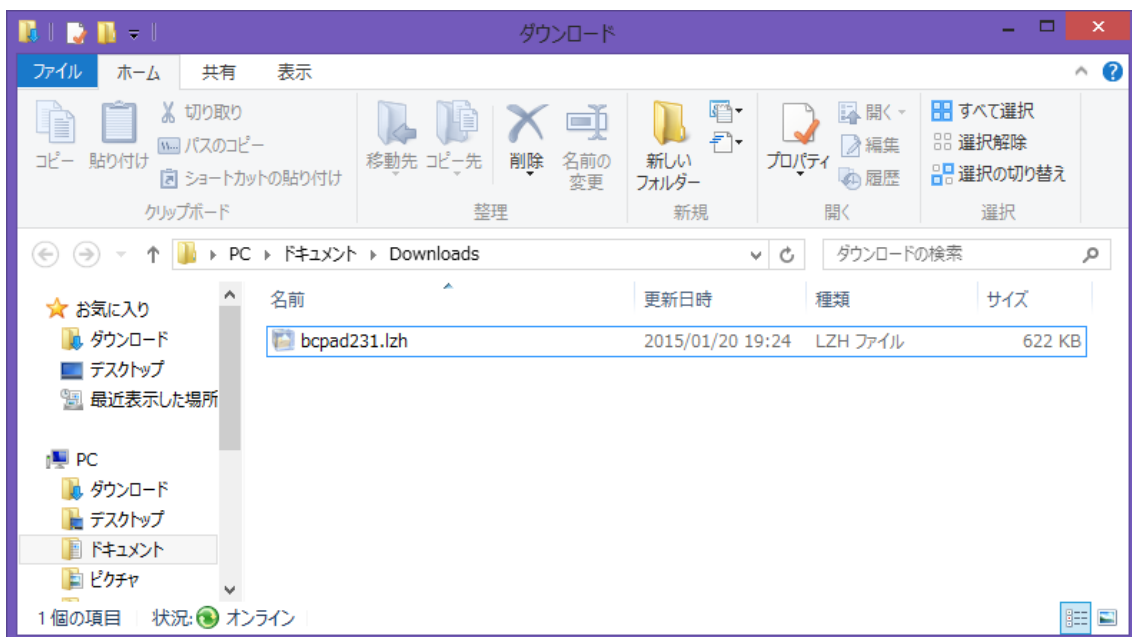
<http://hp.vector.co.jp/authors/VA017148/pages/cpad.html> にダウンロードリンクがありますが、2015年1月現在ダウンロードできなくなっているため、<http://cpad.michikusa.jp/> からダウンロードをします。上の URL からアクセスしてください。

CPad ダウンロードページ (一時退避場)

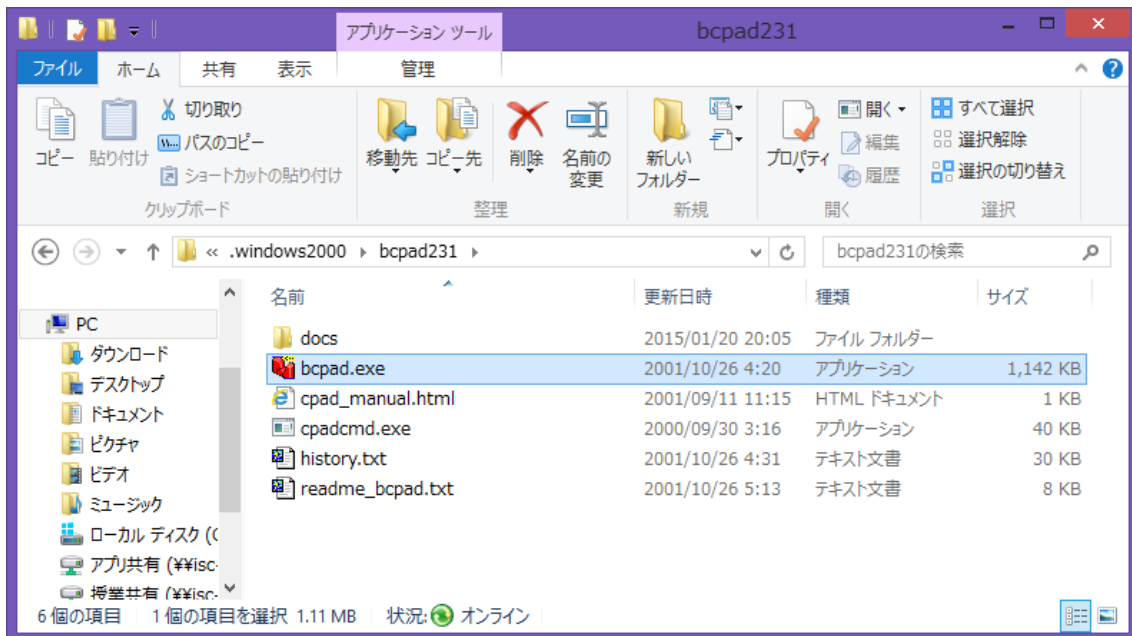
BCPad と OSCPAd が Vector からダウンロードできなくなっているため、当面はこちらからダウンロードしてください。(by 稀杜)

- ・ [CPad for Borland C++ Compiler ダウンロード\(bcpad231.lzh\)](#)
- ・ [CPad for C# .NET ダウンロード\(cscpad23.lzh\)](#)

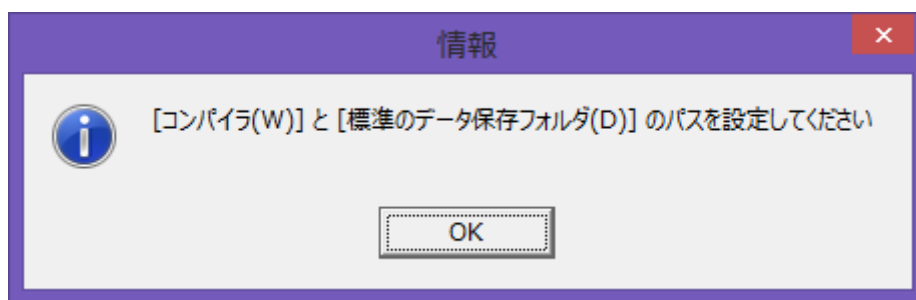
「CPad for Borland C++ Compiler」をクリックしてダウンロードして保存してください。



デフォルトの設定なら、「ダウンロード」フォルダに「bcpad231.lzh」が保存されると思います。これをダブルクリックか右クリックから解凍します。解凍先は「マイドキュメント」内のフォルダにしてください。解凍した先には、以下のようなファイルが表示されます。

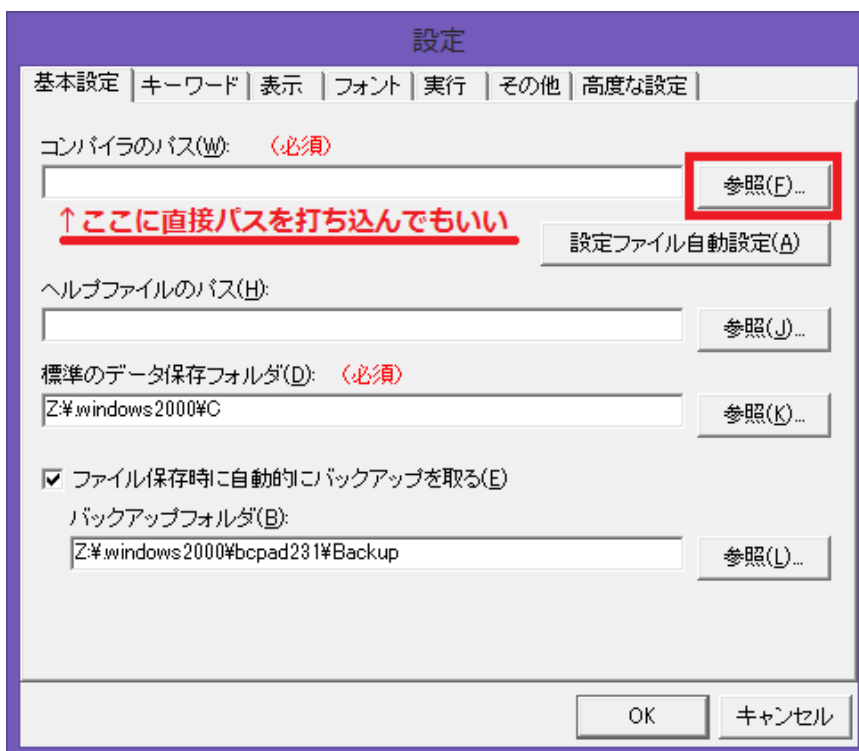


「bcpad231」フォルダ内にある bcpad.exe をダブルクリックして実行してください。



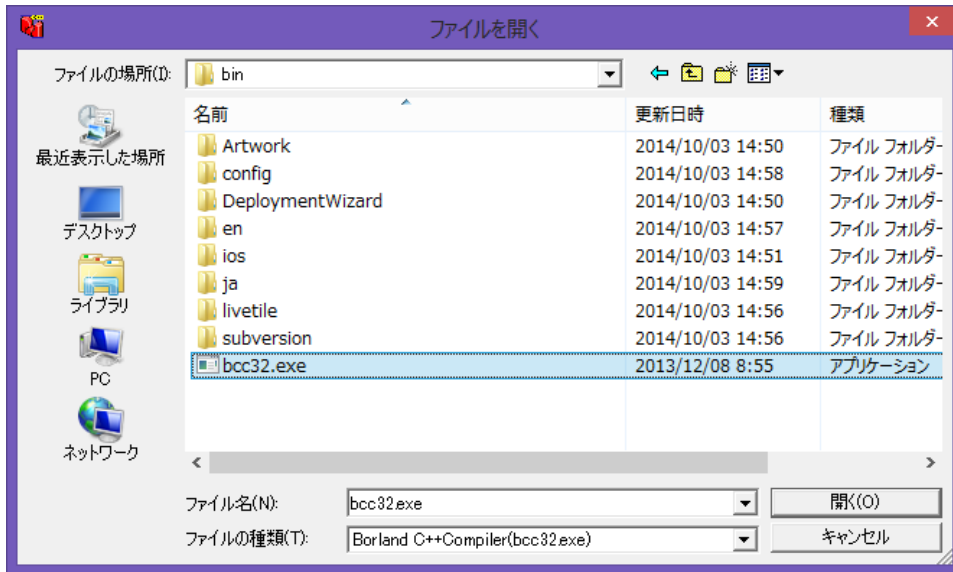
と表示されます。このダイアログの「OK」をクリックしてください。

それでは、これから「CPad」の設定をしていきます。この設定は、初回起動時にするだけでいいので、どんどんやっていきましょう。

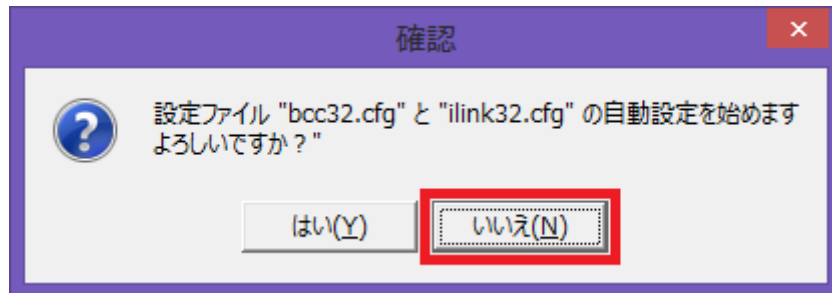


まず、コンパイラのパスという項目の、参照をクリックします。「ファイルを開く」というウィンドウが出てく

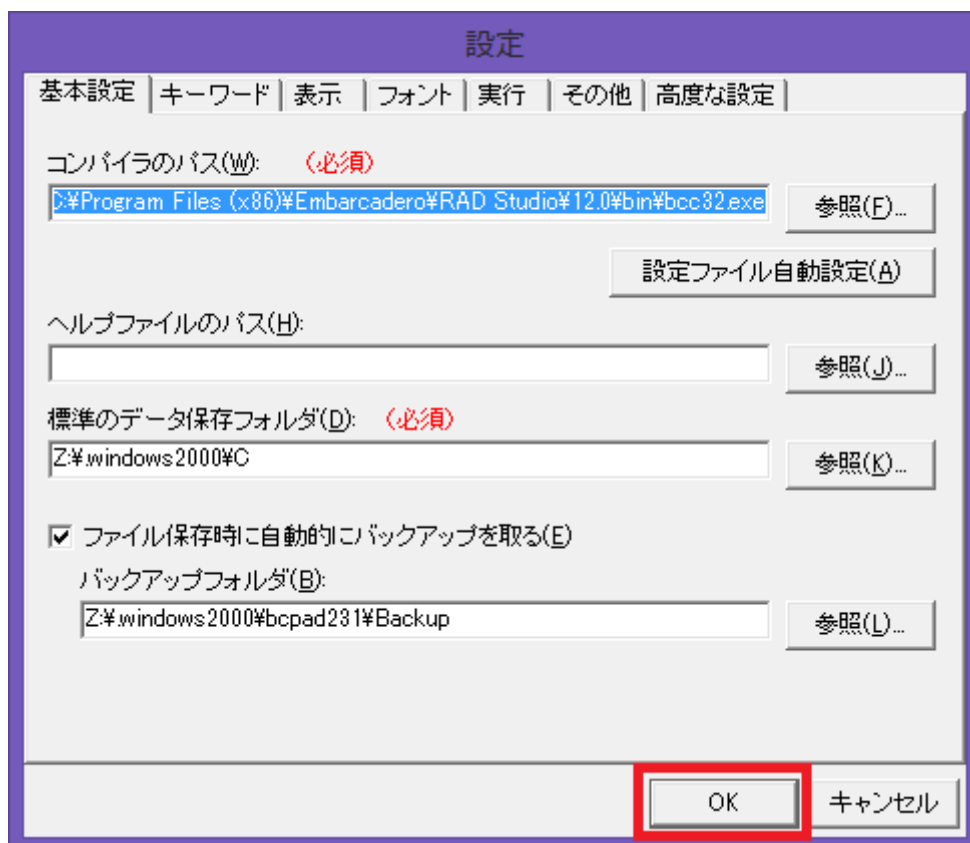
るので、C:\Program Files (x86)\Embarcadero\RAD Studio\12.0\bin\bcc32.exe を指定してください。もしくは、「コンパイラのパス」に、上のパスを直接打ち込んででもできると思います。



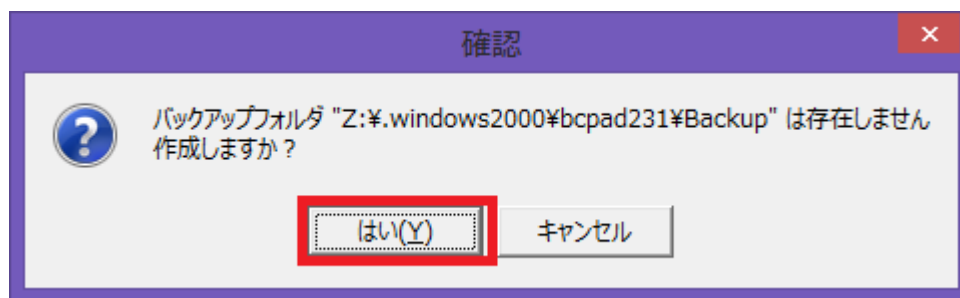
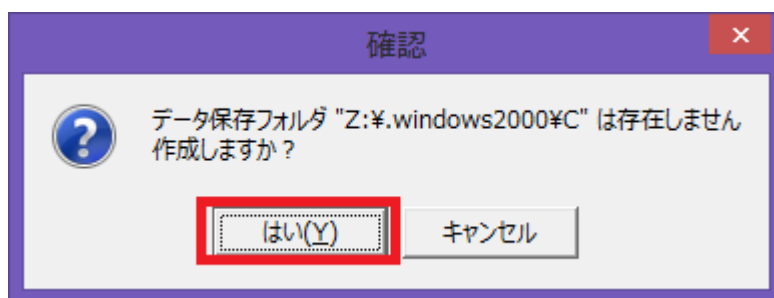
bcc32.exe がハイライトされている状態で「開く」をクリックすると、下のように自動設定をするかどうか聞かれます。ここでは、「いいえ」をクリックしてください。



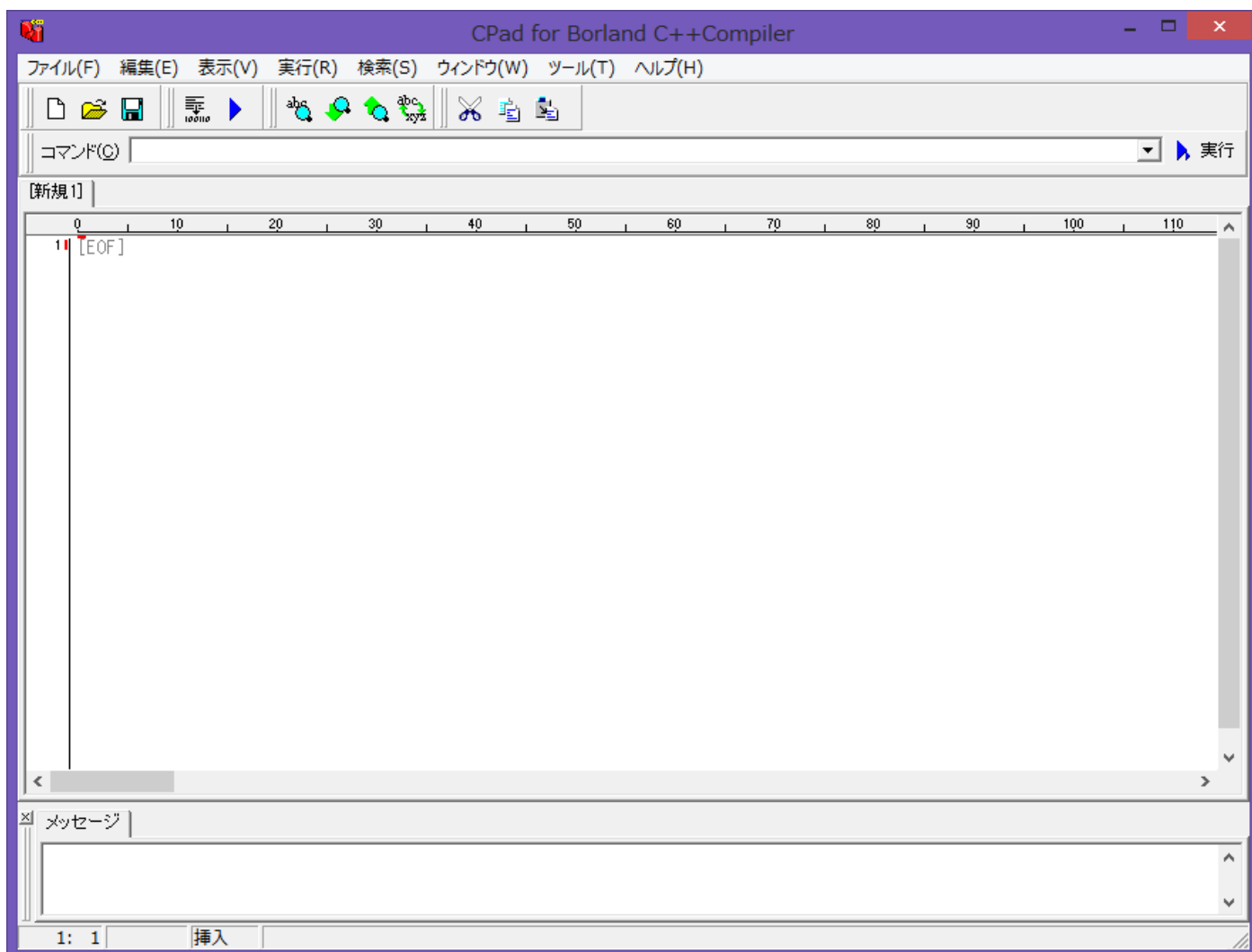
すると、下の画像のような状態になるので、そのまま「OK」をクリックします。そのほかに設定を変えたい場合は、「OK」を押す前に設定を変えておいてください。



以下のような確認ダイアログが出ると思うので、どちらも「はい」をクリックします。



以下のような画面が開いたら、設定は完了です。使い始めることができます。



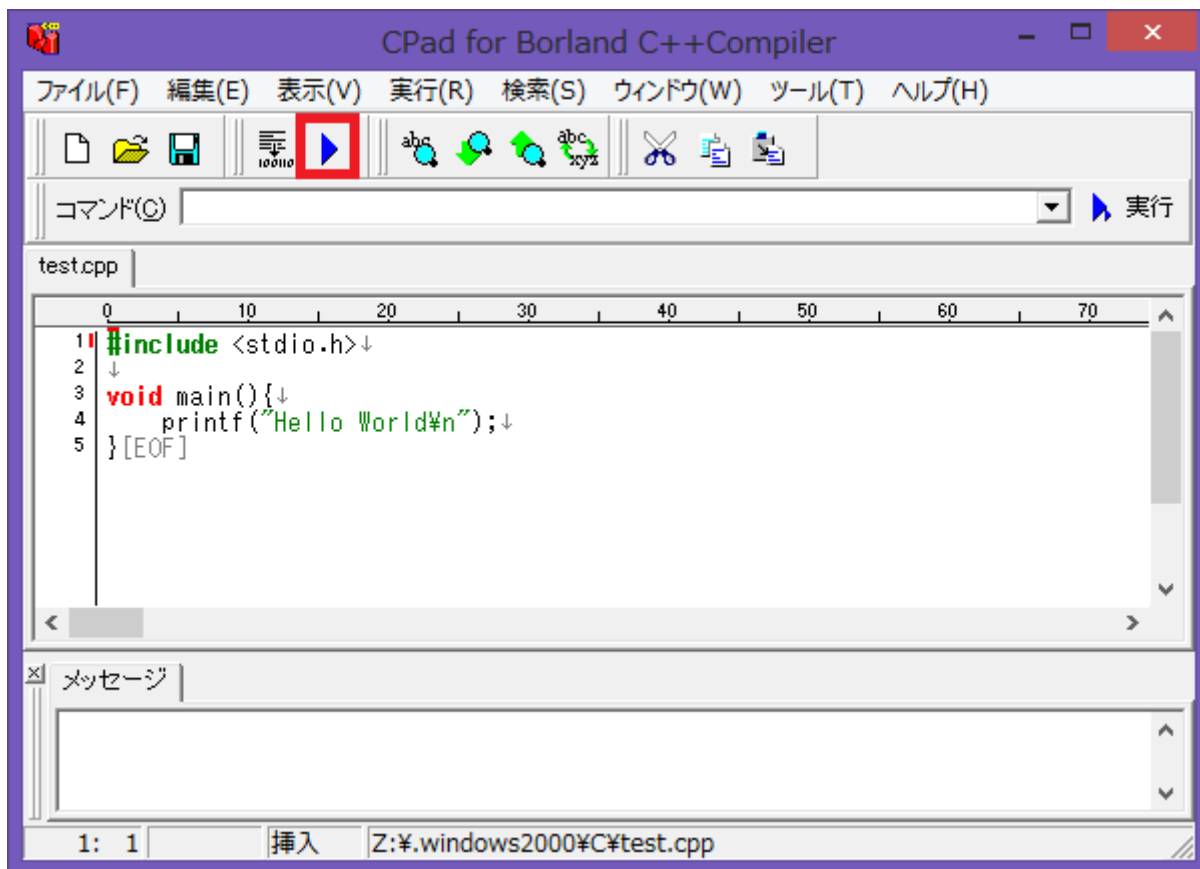
※以上の設定は、**学内のみ**有効な設定です。自宅で使う場合は、以下の作者のページを参考に設定してください。

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA017148/pages/cpad.html>

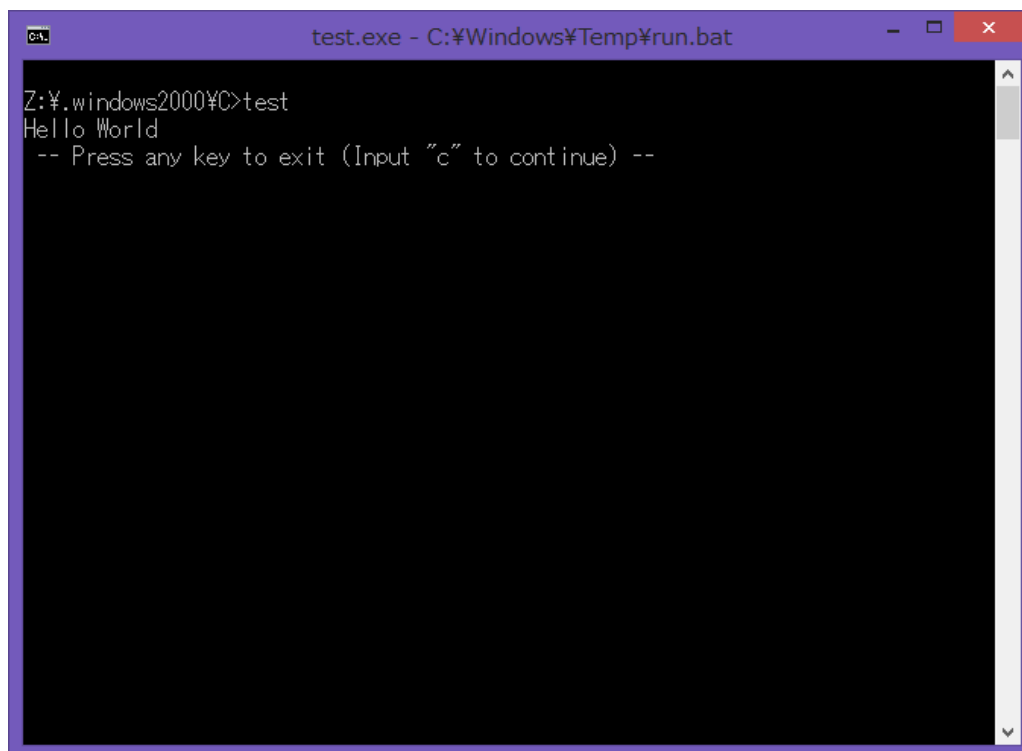
使い方

これで設定が完了したので、次は使い方を説明します。

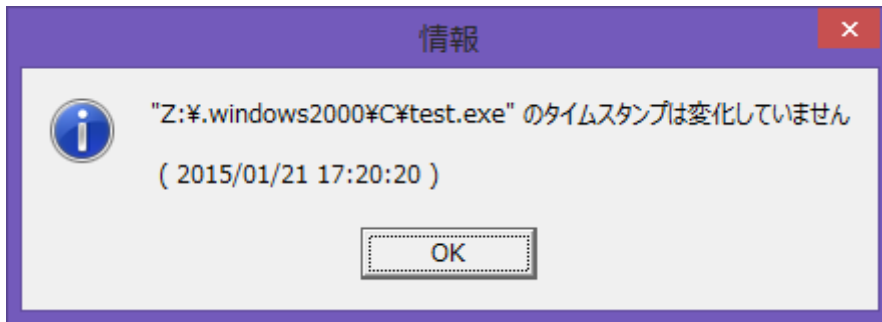
CPad は、ウィンドウの中央にあるエディタにプログラムを入力し、上部のバーにある、青い右向きの三角のボタンをクリックすれば、コンパイルして実行することができます。



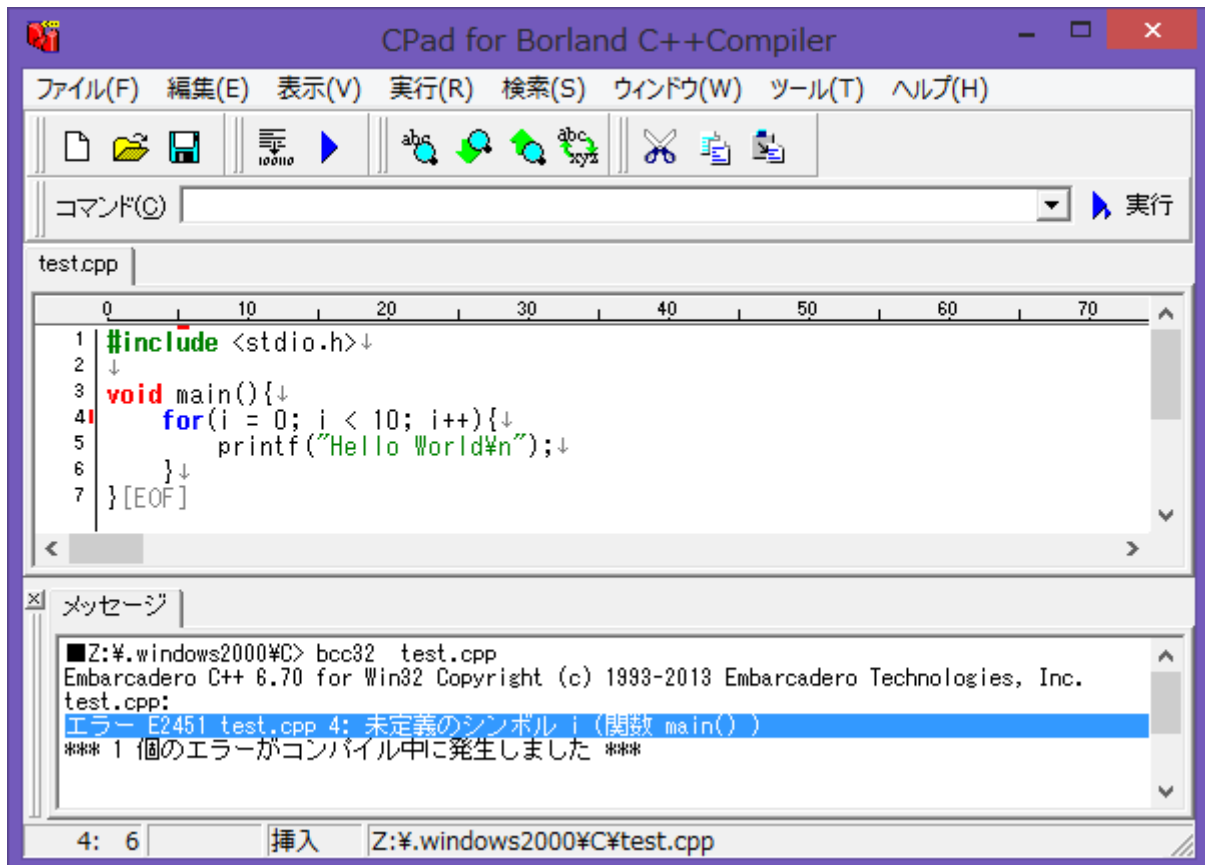
実際にプログラムを書き込み、実行してみました。



自動的にコンパイルされ、実行されました。このように、CPad を使えば、プログラミングを簡単に行えます。また、書いたプログラムにエラーがある場合は、下のようなダイアログが表示されます。



このダイアログが表示された場合は、新たな実行ファイルが生成されないため、同じ内容でもう一度実行ボタンをクリックしても、以前にコンパイルされて生成した.exe ファイルが実行されるだけです。ちなみに、エラーの内容は、ウィンドウ下部のメッセージ欄に表示されます。



この場合は、変数 `i` の定義をしていないというエラーが出ています。プログラムをコンパイルしたときにエラーが出た場合は、出たメッセージを参考に、プログラムを修正して実行しなおしてください。